

分科会等名： 地理教育分科会

1	所属委員会名（複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。）	○地域研究委員会 地球惑星科学委員会
2	委員の構成	30人以内の会員・連携会員など
3	設置目的	<p>2001年の日本学術会議の声明「21世紀における人文・社会科学の役割とその重要性－「科学技術」の新しいとらえ方、そして新しい社会・文化システムを目指して－」において「文・理の二分法を乗り越えた新しい統合的・融合的知識の必要性」が指摘されている。</p> <p>自然環境と人間活動との相互関係を研究対象とする地理学は、ギリシャ時代に遡る。自然・人文社会科学が分離する以前の文理融合の学問的特性を本来有しており、上に指摘された知識の統合において重要な視点・方法を提供することができる。その基礎を国民が広く共有できるようになるには、地理教育に期待するところが大きい。それら初等・中等教育における地理教育のあり方について多面的に検討し、さらに、大学の編成・構成の多様化が進む中での文理融合の地理教育の推進にも資する有効な指針を示す必要がある。これらの分野に精通した会員・連携会員の多くは、第一部地域研究委員会と第三部地球惑星科学委員会に分かれて属しているので、上記の検討を進めるには、この両委員会の下に単一の分科会を設けることが機能的である。</p> <p>この分科会において、近隣地域から地球全体にいたるさまざまな空間スケールで発現している自然的・人文社会的諸現象とその相互関係、およびそれらを表現する地図・地理空間情報を扱う地理教育のありかたについて検討し、提言を行う。</p>
4	審議事項	<p>1. 新しい時代に相応しい初等中等教育、高等教育、生涯教育における地理教育の内容と教育体制の改善。</p> <p>2. 文理融合教育普及のための地理学及び隣接諸分野との協働の推進。</p>
5	設置期間	<p>時限設置 年 月 日～ 年 月 日</p> <p>○常設</p>
6	備考	